

セットアップガイド

サイネージコントローラー

MODEL PN-ZP40

当モデルは精密機器です。

本ガイドならびに取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

本ガイドの取り扱いに関して

- 本ガイドは、コントローラーを長期間良好な状態でご使用いただくためのセットアップ方法を記載しています。
- 本ガイドは、製品の改良・改善等による仕様変更や継続した評価の結果により、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

シャープ株式会社

Ver. 1.0 2021/10/18

デジタルイメージングソリューション事業本部 デジタルイメージングソリューション事業部

第1章	セットアップ手順	
	<u>1-1. セットアップの流れ</u>	2
	1-2. 準備(コントローラーの電源を入れる前にご確認ください)	3
	<u>1-3. Windowsのセットアップ</u>	3
	<u>1-4. HEVC 拡張機能のアップデートについて</u>	4
	<u>1-5. サイネージ/電子黒板設定ツールの実行</u>	5
	1-6. 仮想オーディオドライバーのインストールについて	9
		10
	1-8. アプリケーションソフトのセットアップ/インストール	11
第2章	その他の設定	
	2-1. 通知とアクションの設定について	12
	2-2. ストレージ(SSD)の書き込み保護機能について	13
	<u>2-3. Windows Update について</u>	13
	2-4. ディスプレイ信号待機状態の USB 機器からのスリープ復帰について	14
	<u>2-5. ウイルス対策について</u>	14
	<u>2-6. 回復ドライブ、システムイメージ及び復元ポイントの作成について</u>	15
	2-7. バックアップ/回復オプションについて	17
	<u>2-8. e-Signage S プレーヤー利用時の動画別プロセス再生について</u>	18
第3章	再セットアップ	
	<u>3-1. 回復ドライブの作成</u>	19
	<u>3-2. システムイメージの作成</u>	21
	3-3 回復ドライブとシステハイメージを使った復元	24

本機を初めて使用するときは、セットアップを行う必要があります。

メモ

- ・セットアップには USB マウスと USB キーボードが必要です。
- ・初回起動中は、電源をオフしないでください。Windows が起動しなくなる場合があります。
- ・本機をインターネットに接続すると、自動的に Windows のライセンス認証が行われます。
 - Windows のプロダクトキーを入力する必要はありません。(Windows ラベルにはプロダクトキーが印刷されていません。)
 - セットアップ時は必ずインターネットに接続してください。
- ※ H.265/HEVC の動画ファイルを使用する場合、必ずインターネットに接続し、H.265/HEVC の拡張機能をアップデートしてくだ さい。アップデート方法については、本章の「1-4. HEVC 拡張機能のアップデートについて」を参照ください。アップデートせず に利用すると、c:¥windows¥temp にエラーファイルが大量に作成され SSD 容量が減少するとともにパフォーマンスが低下致しま す。

1. セットアップ手順

<u>1-1. セットアップの流れ</u>



1-2. 準備(コントローラーの電源を入れる前にご確認ください)

マウス、キーボード、ディスプレイが接続されていること、ディスプレイの電源が入っていることを確認して、コントローラーの電源を入れる。

(注意) Windows のセットアップ中は、本機に USB メモリーを差さないでください。

<u>1-3. Windows のセットアップ</u>

- 1) コントローラーをインターネットに接続可能なネットワークに接続する。
- 2) ディスプレイの電源を入れて、コントローラーの電源スイッチを押す。
- 3) 「Windows 10 使用許諾契約」画面が表示されたら、「MICROSOFT SOFTWARE LICENSE TERMS」の内容を確認し、[同意] をクリックする。
- 4) 「この PC を使うのはだれですか?」画面が表示されたら、「名前」、「パスワード」、「パスワードのヒント」を入力し、[次へ] を クリックする。
 - ・入力したパスワードは忘れないようにしてください。



5) 「お待ちください…」画面が表示された後、Windowsのセットアップが完了すると、デスクトップ画面が表示される。



<u>1-4. HEVC 拡張機能のアップデートについて</u>

- ・H.265/HEVC の動画ファイルを使用する場合は、インターネットに接続し、HEVC 拡張機能のアップデートが必要です。
- HEVC 拡張モジュールをアップデートしない状態で H.265/HEVC のファイルをデスクトップなどのサムネイルが作成されるフォル ダーにコピーすると、サムネイル作成時にエラーが発生し、Ci¥Windows¥Temp のフォルダーにエラーファイルが大量に作成されま す。SSD 容量が減少するとともにパフォーマンスが低下いたしますので、必ずアップデートを実施してください。
- アップデートしない状態で、H.265/HEVCの動画ファイルをクリックした場合は、C:¥Windows¥Temp にある全てのファイルをコントローラーから削除してください。

■HEVC ビデオ拡張機能のアップデート方法

コントローラーをインターネットに接続する。 インターネットに接続すると自動でアップデートされます。 ライセンス認証がされていない場合は、ライセンス認証が自動で実施された後、約3分でアップデートされます。

■HEVC ビデオ拡張機能のアップデートの確認方法

- 1) 「スタート」メニューの「設定」をクリックする。
- 2) 「アプリ」―「アプリと機能」をクリックする。
- アプリー覧の中の「HEVC Video Extensions from Device Manufacture」が「デバイス製造元からのHEVC ビデオ拡 張機能」に変更されていることを確認する。

「HEVC Video Extensions from Device Manufacture」 が表示されている場合は、アップデートされていませんので、 しばらく時間をおいてから再度、確認をしてください。

```
<アップデート前>
HEVC Video Extensions from Device Manufactur...
Microsoft Corporation
```

■ライセンス認証の状態確認

インターネットに接続すると、ライセンス認証が自動で実施されます。 ライセンス認証については、以下の手順で確認してください。

- 1) 「スタート」メニューの「設定」をクリックする。
- 2) 「更新とセキュリティ」をクリックする。
- 3) 「ライセンス認証」をクリックする。
- 4) ライセンス認証されていることを確認する。



<アップデート後>

デパイス製造元からの HEVC ビデオ拡張機能 Microsoft Corporation



セットアップガイド

1-5. サイネージ/電子黒板設定ツールの実行

本機は、サイネージ用途のため電子黒板用途では使用しないでください。 最新版は下記 URL でご案内しております。 URL: https://jp.sharp/business/lcd-display/lineup/pnzp40/

※ 管理者権限のあるユーザーアカウントで実行してください。

- ※ Microsoft アカウントに関連付けしているユーザーアカウントでは自動ログオンできません。
- デスクトップ画面の「サイネージ/電子黒板設定ツ ール」をダブルクリックする。
 または、「スタート」メニューの「サイネージ/電子 黒板設定ツール」をクリックし、「サイネージ/電子 黒板設定ツール」をクリックします。



- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックする。
- 3) 用途に応じたボタンをクリックする。
 [サイネージ用途]
 ⇒ サイネージ用途に適した設定に切り替えます。

[電子黒板用途]

- ⇒ 本機はサイネージ用途のため、電子黒板用途では使用しないでください。
- [標準設定] ⇒ Windows の標準設定に切り替えます。
- 各設定を個別で変更したい場合は、その項目のチェ ックボックスをクリックする。
- 5) [OK] をクリックする。
- 6) 設定が実行される時に、セキュリティレベルが低下 する設定を行った場合は、セキュリティアラートの 画面が表示されます。内容を確認し「OK」をクリッ クする。
- 右図が表示された場合は、ログオンパスワードを入 カし、[OK] をクリックする。
 - 「共通設定」の「自動ログオンする」をチェック すると、右図が表示されます。
 - 入力したパスワードを確認したい場合は、「パスワードを表示」をチェックしてください。
 - ログオンパスワードを設定していない場合は、未 入力の状態で[OK]をクリックしてください。
 - 入力されたログオンパスワードが間違っている
 と、コントローラー起動時に自動ログオンできません。





セットアップガイド

- 名図が表示された場合は、接続しているインフォメ ーションディスプレイに応じた通信速度を設定し、
 [OK]をクリックする。
 - 「サイネージ用途」の「e-Signageの通信速度を 設定する」をチェックすると、右図が表示されます。
 - [初期値一覧]をクリックすると、ディスプレイ の通信速度の初期設定一覧が表示されます。
 - 次の使い方の場合は、e-Signageの取扱説明書の 「スケジュール受信・番組表示」 – 「e-Signage クライアントスケジューラについて」 – 「e-Signage クライアントスケジューラのメニ ュー」 – 「パネル制御」の説明を参照頂き、ディ スプレイの制御設定を変更してください。
 - RS-232C ではなく LAN 接続でディスプ しイを制御する場合
 - 複数台のディスプレイを制御する場合
- 1日図が表示された場合は、接続しているインフォメーションディスプレイに応じた解像度を設定し、 [OK]をクリックする。
- 10) 設定中は「設定を変更しています」と表示されます。

11) 再起動の確認画面が表示された場合は、[OK] をク リックしてコントローラーを再起動する。

e-Signage 通信速度設定	\times
インフォメーションディスプレイと RS-232C で接続する場合の e-Signage の通信速度を設定します。 ・使用するインフォメーションディスプレイの「通信速度」の設定に合わせてください。 ・ インフォメーションディスプレイの「通信速度」の初期設定は、「初期設定一覧をクリックして確認してくだ さい。該当するシリーズ名がない場合は、インフォメーションディスプレイの取扱説明書をご確認ください。 ・ インフォメーションディスプレイを制御しない場合や、インフォメーションディスプレイと LAN で接続する 合は、e-Signage クライアントスケジューラの設定画面で「パネル制御」の設定を行ってください。詳細 は e-Signage の取扱説明書をご覧ください。	9
9600bps ~ 初期設定一覧 OK キャンセノ	ŀ

既定の解像度設定				>	<
接続されたインフォメーションディスプレイを正し 出力されるように、画面の般像度と向きを設定しま	しく認識できな ます。	いかった場合に、	ディスプレイに合わ	せた映像信号	P _c
下記以外のディスプレイ (1920×1080、横置き)		~			
			ОК	キャンセル]
サイネージ/電子黒板設定ツール					>
現在の設定		変更後の設定			
共通設定		共通設定			
・自動ロヴオンオる ・ロック画面を表示しない ・画面Lのテキストやその他項目のサイズを100%はでする ・「SHARP インフォメーションディスプレイダウンローダー」を自 ・ディスプレイダ2歳できなかった場合の規定の解像度を設定す ・Watchdog Timeで考知しまる	的起動する " る	 ☑ 自動ログオンオ ☑ ロック画面を表 ☑ 画面上のテキ: □「SHARP イン: ☑ ディスブレイを □ Watchdog Time 	・る 示しない ストやその他項目のサイズを1 フォメーションディスプレイダウ 認識できなかった場合の既定 ≪を有効にする	100%はこする シローダー」を自動 の解像度を設定す	h記動する る
サイネージ用途		サイネージ用途			
 ・UAC(ユーザーアカウント制御)を無効にする ・全てのファイルとフォルダーを表示する ・Windows [Datato(自動実新を無効にする) ・ドライバーの自動運動を無効にする ・NTPの/minipility-stability ・ドログル(minipility-stability) ・ドログル(minipility-stability) 		 ● UAC(ユーザ・ ● 全てのファイル ● Windows Upda ○ドライバーの自 	- アカウント制御)を無効にする とフォルダーを表示する Meの自動更新を無効にする 前更新を無効にする 19時間に設定する	5	
・メディアの自動再生をしない ・トーストi動かとパルーンi動がを無効にする ・Windows Maria Planarの自動更新考慮がまます。			をしない ーン通知を無効にする	±2.	
・e-Signageの)通言速度を読定する: 9600bps ・タスク スケジューラの「Defrae」を振力にする	設定を変更し	しています	度を設定する)の「Defrar」を無効にす	5	
・タスク スケジューラの 「WinSAT」を無効にする ・電源管理を「e-Signageブラン」にする	しほらくお待ち	56723()	うの「WinSAT」を無効にす xgeブラン」にする	する	
「e-Signage Client Scheduler」を自動起動する ・「SHARPペンソフト」の常能ソフトを無効にする			heduler」を自動起動する 」の常駐ノフトを無効にす	5	
 Wake On LAN / RTCのため、高速スタートアップを無効 ・ネットワーク上のデバイスへの自動接続確認を行わない 		☑ネットワーク上	Cのため、高速スタートアのデバイスへの自動接続確認	⁷ ップを無効にする 2を行わない	
・デスクトップテーマを「SHARP e-Signage」にする ・エッジ スワイプを悪効にする ・Windows Defenderを無効にする		■デスクトップテ ■エッジ スワイコ ■Windows Defe	ーマを「SHARP e-Signage」にす 「を無効にする nderを無効にする	13	
電子黑板用途		電子黑板用途			
 ・電源管理を「電子黒板ブラン」にする ・「SHARP ペンソフト」を自動起動する 		□電源管理を「電 □「SHARP ペン」	子黒板ブラン」にする ノフト」 を自動起動する		
		サイネージ用決	電子黑板用途	標準	職定
Ver.1.4.2.1		チェックされて	いない項目について	ОК	*4乙也儿
サイネージ/電子黒板設定ツール		×			
設定を完了するにはコンピューターの再起動が必要	更です。	1			



※再起動しないと設定した内容の一部が反映されません。

今すぐ再起動してもよろしいですか?

メモ

・「標準設定」を選んだ場合、各設定項目は以下の内容に設定されます。

共通設定

[自動ログオンする	・自動ログオンしない
	IME ツールバーをタスクバーに入れる	・ IME ツールバーを表示する
	ロック画面を表示しない	・ロック画面を表示する
	タスク スケジューラの「Plug&Play Cleanup」を無効にする	・タスク スケジューラの「Plug & Play Cleanup」を有効にする
	画面上のテキストやその他項目のサイズを 100%にする	 ・画面サイズや解像度に応じて、テキストやその他項目のサイ
		ズを自動スケーリングする
	「SHARP インフォメーションディスプレイダウンローダー」	・「SHARP インフォメーションディスプレイダウンローダ
_	を自動起動する	ー」が自動起動しない
	ディスプレイを認識できなかった場合の既定の解像度を設定	 ディスプレイを認識できなかった場合の既定の解像度を選
	する	択された解像度に設定する
	Watchdog Timer を有効にする	・Watchdog Timer を無効にする
サイ	ネージ用途	
	UAC(ユーザーアカウント制御)を無効にする	・既定 - プログラムがコンピューターに変更を加えようとす
_		る場合のみ通知する
	全てのファイルとフォルダーを表示する	・ 隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示
		しない
		· 登録されている拡張子は表示しない
	Windows Update の自動更新を無効にする	・ 更新プログラムを自動的にインストールする (推奨)
	ドライバーの自動更新を無効にする	 ドライバーを自動インストールする
		 デバイスの製造元によって提供されるデバイスアプリケー
-		ションと情報を自動的に取得する
	NTPの同期間隔を3時間に設定する	 NTPの同期間隔を7日間にする。ただし、Windows10 loT
		Enterprise 2016 LTSB の場合のみ同期間隔は1日となり
-		ます。
-	メディアの自動再生をしない	・メディアの自動再生をする
-	バルーンヒントを表示しない	・バルーンヒントを表示する
-	トースト通知とバルーンヘルフを表示しない	・トースト通知とバルーンヒントを表示する
	Windows Media Player の目動史新を無効にする	・ 「史新フログラムの確認」を「1週間に1回」にする
		・インターネットからメティア情報を取得する
		・追加のメティア情報をインターネットから取得して音楽ノ
		アイルを更利する
		· ノアイル再主なには回期時に自動的に使用権限をタリノロ
		- にする ・ 促進されていスファイルの再新が必要かどうかを白動的に
		確認する
		・デバイマの時計を自動的に設定する
		· 一意のプレイヤーD をコンテンツのプロバイダーに送信しない
		· マイクロソフトのソフトウェアおよびサービスの品質向上
		に役立てるため、プレイヤーの使用データをマイクロソフト
		に送信する
		 ・最近再生したファイル/よく再生するファイルの一覧を保管
		し表示する
Ī	e-Signage の通信速度を設定する	・e-Signageを「パネル制御しない」に設定する
Ī	Windows スタートアップのサウンドを再生しない	・Windows スタートアップのサウンドを再生する
Ī	Aero プレビューしない	· Aero プレビューを使用する
Ī	タスク スケジューラの「Defrag」を無効にする	・タスク スケジューラの「Defrag」を有効にする
Ī	タスク スケジューラの「WinSAT」を無効にする	・タスク スケジューラの「WinSAT」と
		「WsSwapAssessmentTask」(Windows 8.1/10)を有
		効にする
L		

電源管理を「e-Signage プラン」にする	・ 電源プランを「バランス (推奨)」にする
「e-Signage Client Scheduler」を自動起動する	・「e-Signage Client Scheduler」が自動起動しない
「SHARP ペンソフト」の常駐ソフトを無効にする	・「SHARP ペンソフト」の常駐ソフトを有効にする
Wake On LAN/RTC のため、高速スタートアップを無効にす	 高速スタートアップを有効にする
వ	(Wake On LAN/RTC は正しく動作しません)
ネットワーク上のデバイスへの自動接続確認を行わない	 ネットワーク上のデバイスに自動的に接続するか確認する
	メッセージを表示する
デスクトップテーマを「SHARP e-Signage」にする	・デスクトップテーマを「Windows」(Windows8.1/10)ま
	たは「Windows7」(Windows 7)にする
エッジスワイプを無効にする	・エッジスワイプを有効にする
Windows Defender を無効にする	・Windows Defender を有効にする

電子黒板用途

電源管理を「電子黒板プラン」にする ・電源プランを「バランス(推奨)」にする

ディスプレイのサイズや解像度に応じて、テキストやその他項目のサイズが自動スケーリングされるようにしたい場合は、「共通設定」の「画面上のテキストやその他項目のサイズを100%にする」のチェックを外します。

・「共通設定」の『「SHARP インフォメーションディスプレイダウンローダー」を自動起動する』がチェックされていると、搭載ソフトに更新があった際に、タスクトレイに通知が表示されます。更新通知を表示したくない場合は、チェックを外してください。

・「サイネージ用途」の「Windows Update の自動更新を無効にする」をチェックした場合、安定したコンテンツ再生のため、Windows の自動更新が無効になります。Windows Update を行う場合は、「2-3. Windows Update について」の手順に従ってください。

・「トースト通知とバルーンヘルプを表示しない」を利用する場合は、サイネージ/電子黒板ツールを最新版にアップデートしてください。最新版に変更しても表示される場合はアプリケーション毎に設定を行う必要がありますので、「2-1.通知とアクションの設定について」の手順に従って設定を行ってください。

1-6. 仮想オーディオドライバーのインストールについて

e-Signage や Windows Media Player をご利用時にディスプレイの電源を切/入すると、Windows Media Player が停止し黒画面に なる場合があります。また、以下のように音声出力ができないディスプレイに接続する際は、動画再生時にコマ落ちや遅延が生じる場合 がありますので、必ず本ドライバーをインストールしてください。

・HDMI 出力を DVI 変換してディスプレイに接続する場合

・HDMI 出力をスピーカーが搭載されていないディスプレイに接続する場合

・HDMI 出力を音声出力端子のないディスプレイに接続する場合

インストール手順:

- 1) エクスプローラーから C:¥SHARP¥Utility¥SHVirtualAudioDriver にある Setup.exe を実行する。途中で「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されることがあります。その場合、「はい」を選択してください。
- 2) 画面の指示に従ってインストールを実行する。途中で「Windows セキュリティ」のダイアログが表示されることがあります。 その場合、「インストール」を選択してください。
- 3) インストールが完了すると、再生デバイスに「SHVirtualAudioDevice」が追加されます。

確認方法:

- 1) 「Windows キー」と「Xキー」を同時に押して、「デバイスマネジャー」を 起動する。
- 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー」をクリックし、 SHVirtyalAudioDevice が表示されることを確認する。



使用方法:

音声出力できないディスプレイに接続する場合は、以下の手順で出力デバイスを変更してください。

- 1) 「スタート」メニューの「設定」をクリックする。
- 2) 「システム」をクリックする。
- 3) 「サウンド」をクリックする。

出力デバイスが音声出力したいデバイスになっていることを確認してください。

音声出力できないディスプレイに接続する場合は、

「スピーカー(SHVirtualAudioDevice)」を選択してください。

音量調整やミュート操作が可能ですが、仮想デバイスのため音は出力されません。

山-市 ①	サウンド
設定の検索	D BUTTY AS BRUCKED
	スピーカー (SHVirtualAudioDevice)
9775 9777777777777777777777777777777777	一部のアプリでは、カスタム出力設定を使用します。それらの設定はサウンドの 詳細設定でカスタマイズできます。 デバイスのプロパティ
40 サウンド	#92-4
通知とアクション	 (小)) (小) (小)
S #+1-F	サウンドデバイフを映神する

アンインストール方法:

「プログラムと機能」(「アプリと機能」)から「SHVirtualAudioDriver」を選んで「アンインストール」をクリックする。

1-7. 画面解像度の変更

Windows の「ディスプレイの詳細設定」で解像度を変更すると、正しく表示できないことがあります。画面解像度は、以下の手順に従って、「インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」で変更してください。

- 1) デスクトップを右クリックする。
- 「インテル®グラフィックスの設定」をクリックする。
- 3) 「ディスプレイ」をクリックする。

- 4) 「解像度」から変更したい設定を選択する。
- 5) 「適用」をクリックする。
- 6) 確認画面が表示された場合は「はい」をクリックする。
- インテル® HD グラフィックス・コントロール・パネル」
 を閉じる。



•

(5)

i⊒#5 ✔0

20-955 ▼5×2304×25-955 於現15年時35 本所図の20-05する 再像かり発展法にする

プロファイルの選択 Macontice

<u>1-8. アプリケーションソフトのセットアップ/インストール</u>

用途に応じて、アプリケーションソフトのセットアップやインストールを行います。

■サイネージ用途の場合

1) 「スタート」メニューー「Windows アクセサリ」ー「Windows Media Player」をクリックする。

Windows Media Player

- 2) 「Windows Media Player へようこそ」画面が表示 されたら、「カスタム設定」を選択し、「次へ」を クリックする。
- Windows Media Player へようこそ Windows Media Player の最初の設定を選択してください。これらの設定は、後で変更することができます。 () 推奨設定(R) Windows Media Player をメディア再生用の既定のプログラムに設定し、使用権限およびメディア情報を自動的に ダウンロードすることによりメディア ファイルを更新して、プレーヤーから Microsoft に使用データを送信します。 (*) カスタム設定(C) プライバシー、再生、およびオンラインストアの設定をカスタマイズします。 推奨設定を使用する場合は、使用状況データが Microsoft に送信されますが、この情報を基にお客様の身元を特定したり、こちらから ご連絡することはありません。 推奨設定の評価については、オンラインのプライバシーに関する声明を参照してください。
- 「プライバシーオプションの選択」画面が表示され たら、[完了]をクリックする。
 - ※ Windows Media Player は、H.265/HEVCの 4K動画の再生はできません。e-Signage S プ レーヤーでのみ再生可能です。



×

2. その他の設定

2-1. 通知とアクションの設定について

追加したアプリケーションは、サイネージ/電子黒板設定ツールでトーストやバルーン通知を表示しない設定にしても、通知される場合 があります。この場合は、以下の手順で通知をオフすることができます。

- ※ サイネージ/電子黒板設定ツールで「表示する」設定に戻した際にも、トーストによって表示されない場合は、この設定で変更してく ださい。
- 1) 画面左下の検索ボックスに「通知とアクション」と 入力し、「通知とアクションの設定]をクリックする。

 「通知とアクション」画面が表示されたら、「アプリ やその他の送信者からの通知を取得する」を[オン] に設定する。

「アプリやその他の送信者からの通知を取得する」 が[オフ]されている場合は、[オン]にしてからアプリ ケーションの設定を変更してください。



 3)「送信元ごとの通知の受信設定」に表示されている アプリケーションで、通知を止めたいアプリケーションを[オフ]にする。



「アプリやその他の送信者からの通知を取得する」
 を[オフ]に設定する。



2-2. ストレージ (SSD) の書き込み保護機能について

 本機の Windows には、ストレージの書き込みを制限する「統合書き込みフィルター(UWF)」機能を搭載しておりますが、動作に 関しては保証しておりません。

2-3. Windows Update について

- ・「サイネージ/電子黒板設定ツール」で「サイネージ用途」の「Windows Update の自動更新を無効にする」をチェックした場合、 安定したコンテンツ再生のため、Windows の自動更新が無効になります。その場合は、Windows の重要な更新プログラムを下記の 手順でインストールしてください。
 - 1) コントローラーをインターネットに接続する。
 - 2) 「スタート」メニューの「設定」をクリックする。
 - 3) 「更新とセキュリティ」をクリックする。
 - Windows Update」の「更新プログラムのチェック」を クリックする。
 - 5) 以降は、画面の指示に従って操作する。



2-4. ディスプレイ信号待機状態の USB 機器からのスリープ復帰について

ディスプレイが信号待機状態において、USB 機器(キーボード、マウス、及びタッチパネルなど)からスリーブ復帰させる場合は、コントローラーの BIOS を起動し、[Chipset]-[PCH-IO Configuration]-[USB Power in S3/S4/S5]の項目を「Power ON」にして ください。

BIOS 設定に入る場合は、ディスプレイの電源を入った状態で行ってください。ディスプレイの電源が切れた状態や信号待機状態で実施すると、BIOS 画面に入ることができません。

- 1) SHARP ロゴが表示されたらすぐに、キーボードの[Delete]キーを押す。
- 2) [Chipset]-[PCH-IO Configuration]-[USB Power in S3/S4/S5]を選択し、「Power ON」に変更する。
- 3) [Save & Exit]-[Save Changes and Exit]を選んで表示される画面で[Yes]を選択する。

BIOSの設定画面が終了し、コントローラーが起動します。

2-5. ウイルス対策について

- ・サイネージ用途に使用する場合、ネットワーク接続でのウイルス感染については、Windows ファイアウォールで、e-Signage が使用するポート(FTP)のみ通信を許可することで強度を高めることができます。インターネットを利用する場合は、VPN(Virtual Private Network)などの対策をとることをお勧めします。
- ・Windows に付属の Windows Defender を使用することで、スパイウェアやウイルスからコントローラーを保護することができま す。Windows Defender を使用する場合は、コントローラーをインターネットに接続してウイルスおよびスパイウェアの定義を更新 し、Windows Defender を最新の状態にしてください。
- ・その他、サードパーティー製のウイルス対策ソフトを使用する場合は、動作確認の上、お客様の責任でご利用ください。

2-6. 回復ドライブ、システムイメージ及び復元ポイントの作成について

- ・正常にシステムが起動しなくなった場合の対処方法として、回復ドライブとシステムイメージを使用して Windows10 を再インスト ールすることができます。また、復元ポイントを設定することにより、安定動作していた時の状態に復帰させることができます。
- ・回復ドライブとシステムイメージの作成方法については、第3章の再セットアップをご参照ください。
- ※ システムが起動しなくなった場合、回復ドライブとシステムイメージを作成していない場合は、サービス修理対応(有償)となり ますので、事前に回復ドライブとシステムイメージを作成しておくことをお勧めいたします。

復元ポイントの設定をデフォルトでは無効になっています。有効にする場合は、以下の手順に従って有効にしてください。

1) 画面左下の検索ボックスに「復元ポイント」と入力 し、[復元ポイントの作成]をクリックする。

2)	「システムのプロパティ」画面が表示されたら、「シ
	ステムの保護」のタグをクリックし、「構成」をクリ
	ックする。

すべて アプリ ドキュメント 設定 写真 そのか	ë∨ 74	ードバック	
	復元ポイントの作成 2240-5/134		
	Cf (RK		
復元ポイントの作成			
システムのプロパティ		>	<
コンピューター名 ハードウェア 詳細設ま ジステムの保護を使用して、シ す。	ンステムの保護 モート ステムに加えた不要な変更を元に戻しま		

システムの復元(S).

構成(O)...

キャンセル 適用(A)

保護

無効

システムの復元

す。

保護設定 - 利用できるドライブ

コンピューターを以前の復元ポイントの状態に戻す ことにより、システムに加えられた変更を元に戻しま

復元の設定を構成し、ディスク領域を管理して、復元

復元ポイントを作成するには、その前にドライブを選択し て [構成] をクリックし、保護を有効にしてください。

ОК

👟 Windows (C:) (システム)

ポイントを削除します。

 「システム保護対象」の画面が表示されたら、「設定 の復元」の「システムの保護を有効にする」をクリ ックする。
 その他、「適用」をクリックし、「OK」をクリックす

る。

システムの保護をす た不要な変更を元	有効にすると、コン に戻すことができ	ソピューターを前 ます。	回の状態に戻して、	システムに加
システムの様	呆護を有効にする	5		
○ システムの4	保護を無効にする	5		
ディスク領域の使用語	I			
システムの保護で損 なくなると、古い復 ます。	最大限のディスク 三元ポイントが削除	領域を使用する 余され、新しい街	5ように調整できます 夏元ポイントのための	す。ディスク領)領域が確保
現在の使用量:	0 パイト			
最大使用量(M):				
このドライブのすべて	ての復元ポイント	を削除します。		削除([
		0K(0)	キャンカル(の)	適用(Δ
		UK(U)	+ 12 E/V(C)	1 miles
コンピューターを以ば ことにより、システル す	前の復元ポイント ムに加えられた変	の状態に戻す	システムの	
90)復元(S)…
ッ。 保護設定)復元(S)…
ッ。 保護設定 利用できるドラ	イブ		保護	0復元(S)
y。 保護設定 利用できるドラ Windows (イブ (C:) (システム)		保護 有効	0復元(S)
 スマック・ 保護設定 利用できるドラ Windows I 後元の設定を様 ポイントを削除し 	イブ (C:) (システム) 席成し、ディスク等 ます。	見域を管理して、	保護 有効 復元 構	成(O)
 ステムの保護の 	イブ (C:) (システム) 病成し、ディスク等 ます。 が有効になってい よす。	1域を管理して、 るドライブの復元	保護 有効 復元 構, ポイン <u>作</u>	成(C) 成(C)
 > 。 保護設定 利用できるドラ・ Windows 優元の設定を様 ポイントを削除し システムの保護 トを今すぐ作成し 	イブ (C:) (システム) 病成し、ディスク部 ます。 が有効になってい よす。	1域を管理して、 るドライブの復テ	保護 有効 復元 構, tポイン 作	成(O) 成(C)
 ステムのプロバティ 	イブ (C:) (システム) 鳥成し、ディスク部 ます。 が有効になってい 」ます。	は城を管理して、 るドライブの復テ OK	保護 有効 復元 構 tポイン 作 キャンセル	成(O) 成(C)
 ×。 保護設定 利用できるドラ Windows 復元の設定を構 ポイントを削除し システムの保護 トを今すぐ作成し パステムのプロパティ コンピューター名 ハー 	イブ (C:) (システム) 鳥成し、ディスク等 ます。 ジ有効になってい 」ます。 ドウェア 詳細設	1域を管理して、 るドライブの復す OK 定 システムの	保護 有効 復元 構 tポイン 作 キャンセル 保護 リモート	成(O) 成(C)
 ×。 保護設定 利用できるドラ Windows 復元の設定を構 ポイントを削除し システムの保護が トを今すぐ作成し (ステムのブロバティー コンピューター名 ハー・ システムム す。 	イブ (C:) (システム) 病成し、ディスク部 ます。 が有効になってい よす。 ドウェア 詳細設 の保護を使用し、	I域を管理して、 るドライブの復プ OK 定 システムの て、システムに加	保護 有効 復元 構, ホポイン 作 キャンセル 保護 リモート スた不要な変更を	成(O) 成(C) 一 適用
 マ・ 保護設定 利用できるドラ Windows 復元の設定を構 ポイントを削除し システムの保護 トを今すぐ作成し マステムのプロパティ コンピューター名 ハー・ システムの復元 	イブ (C:) (システム) 鳥成し、ディスク領 ます。 が有効になってい よす。 ドウェア 詳細設 の保護を使用して	域を管理して、 るドライブの復 のK で システムの て、システムに加	保護 有効 復元 構, ポイン 作 キャンセル 保護 リモート スた不要な変更を	成(O) 成(C) 元に戻しま
 > 。 保護設定 利用できるドラ Windows 復元の設定を様 ポイントを削除し システムの保護 トを今ずぐ作成し システムのプロパティ システムのプロパティ システムのプロパティ システムの復元 システムの復元 ンピューターをパパ 	イブ (C:) (システム) 病成し、ディスク部 ます。 が有効になってい よす。 ドウェア 詳細設 の保護を使用し:	は 域 を 管理して、 る ドライブの 復 ア の K の K の に た が	保護 有効 復元 構, ホポイン 作 キャンセル 保護 リモート えた不要な変更を	成(O) 成(C) 元に戻しま

🐛 システム保護対象 Windows (C:)

X

復元ポイントを定期的に作成されますが、現状の状態をすぐに作成する場合は、

「システムのプロパティ」の画面で、「作成」を選択 します。

復元を行う場合は、

「システムのプロパティ」の画面で、「システムの復 元」を選択します。 以降の操作は、Windows 画面に従って作業を行い ます。

す。

2-7. バックアップ/回復オプションについて

本機では、回復の「この PC を初期状態に戻す」機能を使わないでください。

本機能を実施するとプリインストールされているアプリケーションやドライバーがすべて消えた状態になりますのでご注意ください。

※ 本機能を使用して初期化した場合は、サービス修理対応(有償)となりますのでご注意願います。



Windows の初期化が必要になった場合は、取扱説明書に記載の修理ご相談窓口にご相談ください。

<u>2-8. e-Signage S プレーヤー利用時の動画別プロセス再生について</u>

e-Signage S プレーヤーをご利用時において、特定動画のコンテンツを長時間再生している時に異常が発生する場合は、クライアント スケジューラーの設定で「動画を別プロセスで再生する」を「有効」に変更すると障害を回避できる場合があります。

クライアントスケジューラの設定

 タスクトレイにあるクライアントスケジューラのア イコンを右クリックし、「設定」を選択する。



設定(<u>S</u>)	
ログを表示()	L)
番組表示を一	-時中断(2)
スケジュール	レ情報を削除(<u>D</u>)
医時番組情報	&を削除(<u>I</u>)
業急テロッフ	プ情報を削除(<u>E</u>)
管理用PCから	5データを取得(<u>G</u>)
(ージョン間	■報(<u>A</u>)
クライアント	スケジューラの終了(X)

2) 「障害時処理」を選択する。

** サービスマン用機能です。遠常は設定を変更しないでください。 ● 図客売生時、エラーダイアログを抑止する(0) ** 分野モジュールを使用してコンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあります。 ● 回販不能な障害が現生した場合、Poを再起動する(B) ● 加藤香苑別プロセスで再生する(3) ● ロ販ア・協力・方の設定 ** サービスマン用機能です。遠常は設定を変更しないでください。 ● 四販不能な障害が現生した場合、Poを再起動する(B) ** サービスマン用機能です。遠常は設定を変更しないでください。 ● 四販不能な障害が現生した場合、Poを再起動する(B) ● 回販不能な障害が現生した場合、Poを再起動する(B) ● 回販不能な障害が現生した場合、Poを再起動する(B) ● 回販不能な障害が現生した場合、Poを再起動する(B)		コノテノツ表示 表示判断	以 电林白生				E PE C TALES	JACII贸易	E
 ○陸客発生時、エラーダイアログを抑止する(D) ※ 外部モジュールを使用してユンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあり ます □回訳不能な障害が発生した場合、PCを再起動する(B) ○ ○ ● ●	※ サービス	マン用機能です。通常は設	定を変更しないう	でください。					
※外部モジュールを使用してコンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあります 回顧不能な障害が発生した場合、POを再起動する(B) ご動画を別プロセンで再生する(C) (パワントスケジューラの設定 キャンセル (パワントスケジューラの設定 シープ (パワントスケジューラの設定 シープ (パワントスケジューラの設定 (パワントスケジューラの設定 (パワントスケジューラの設定 (パワントスケジューラの設定 (パワントスケジューラの設定 (パワントスケジュークの設定) (パワントスケジュークの設定) (パワントスケジュークの設定) (パワントスケジュークの設定) (パワントスケジュークの設定) (パワントスケジュークの設定) (パワントスケジューク) (パワントスケジュールを使用してコンテシッシを再生している場合など、抑止できない場合もあります (回該) (別) (小野モジュールを使用してコンテンッを再生している場合など、抑止できない場合もあります (パワントンで再生する(C) (小動価を知行りてしてで再生する(C) (小動価を知行りてしてで再生する(C)	☑障害	5発生時、エラーダイアログを	抑止する(<u>D</u>)						
□回復不能な障害が発生した場合、PCを再起動する(B) ○動画を怒げ口センで再生する(y) ○K ●パワントスケジューラの設定 ●パワントスケジューラの設定 ● ●創催工ーア コンテンツ表示 ●創催工ーア コンテンツ表示 ●創催者発生時、15ーダイアログを抑止する(D) ※ 外部モジュールを使用してコンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあります ●回復不能な障害が発生した場合、PCを再起動する(B) ②触画を怒げ口センで再生する(y)	* *	外部モジュールを使用して: *	コンテンツを再生し	ている場合な	ど、抑止でき	ない場合もあり			
○ 動画弦別/Dセスで再生する公 OK キャンセル C/アントスケジューラの設定 2 C/アントスケジューラの設定 2 MRビューア コ・テンツ表示 表示博城 電源管理 ネットワーク パネル制御 USBメモリー配信 随客時処理 W音客発生時、エラーダイアログを抑止する(D) ※ 外部モジュールを使用してコンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあり ます □回該不能な障害が発生した場合、Proを再起動する(B) ② 動画弦別プロセスで再生する(少)		夏不能な障害が発生した場	合、PCを再起動	する(<u>R</u>)					
OK キャンセル HYアントスケジューラの設定 HYアントスケジューラの設定 Fight 電源管理 ネットワーク パネル制御 USBメモリー配信 障害時処理 UAC設定 メリービスマン用磁能です。通常は設定を変更しないでだだい。 「陸害発生時、エラーダイアログを抑止する(D) ※ 外部モジュールを使用してコンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあり よす 回回家不能な障害が発生した場合、PCを再起動する(B) 「動画者別ワロセスで再生する(J)	☑動護	1を別プロセスで再生する(<u>v</u>	2						
OK キャンセル OK キャンセル if(アントスケジューラの設定 if(アントスケジューラの設定 if(アントスケジューラの設定 if(アントスケジューラの設定 if(アントスケジューク) パネル制御 USBメモリー配信 障害特処理 UAC設定 if(アントスケジー配合) 障害発生時、エラーダイアログを抑止する(D) if(アログを抑止する(D) if(アログを加止する(D) if(P) if(P) if(P) if(P) i									
OK キャンセル シイアントスケジューラの設定 () 第編ビューア コンテンツ表示 表示領域 電源管理 ネットワーク パネル制御 USBメモリー配信 障害時処理 UAC協定 ** ** サービスマン用機能です。遠常は設定を変更しないで伏だい。 () 「陸害発生時、エラーダイアログを抑止する(D) ** ** 外部モジュールを使用してコンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあります) 「回該有能な障害が発生した場合、PCを両起動する(B) () 「刺動画を別プロセスで再生するい) ()									
OK キャンセル イワントスケジューラの設定 キャンセル キャンセル キャンセル キャンテンツ表示 表示領域 電源管理 ネットワーク パネル制御 USBメモリー配信 障害特処理 UAG設定 メ サービスマン用樹能です。遠常体は設定を変更しないでだだい。 ②陸害発生時、エラーダイアログを抑止する(D) ※ 外部モジュールを使用してコンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあり まず 回回家不能な障害が発生した場合、PCを再起動する(B) ②動画を別プロセスで再生する(Y)									
OK キャンセル Aアントスケジューラの設定 ボーク・フ・ンテンツ表示 表示操城 電源管理 ネットワーク パネル制御 USBメモリー配信 障害特処理 UAO設定 Waを認知られていたださい。 OK アレンテンツ表示 表示操城 電源管理 ネットワーク パネル制御 USBメモリー配信 障害特処理 UAO設定 Waをお生め、エラーダイアログを抑止する(D) X 外部モジュールを使用してコンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあり afg 回復不能な障害が発生した場合、POを再起動する(B) Okmaを部行ロセスで再生する(J)									
イアントスケジューラの設定 結組ビューア コンテンツ表示 表示領域 電源管理 ネットワーク パネル制御 USBメモリー配信 障害時処理 UAC設定 ※サービスマン用機能です。通常は設定を変更しないでください。 ②障害発生時、エラーダイアログを抑止する(D) ※外部モジュールを使用してコンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあり まず □回復不能な障害が発生した場合、PCを再起動する(B) ②動画を別プロセスで再生する(2)									
イアントスケジューラの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							OK		キャンセル
 ● 「「「」」」、「」」、「」」、「」、「」、「」、」、「」、「」、」、「」、」							ОК		キャンセル
 ※サービスマン用機能です。通常は設定を変更しないでください。 ☑ 除害発生時、エラーダイアログを抑止する(D) ※外部モジュールを使用してコンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあります □ 回其不能な障害が発生した場合、PCを再起動する(B) ☑ 動画を別プロセスで再生する(J) 	イアントスケジ	「ューラの設定					OK		キャンセル
 ✓ 除害発生時、エラーダイアログを抑止する(D) ※ 外部モジュールを使用してコンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあります □ 回该不能な障害が発生した場合、PCを再起動する(B) ✓ 動画部辺ロセスで再生する(J) 	・イアントスケジ 手組ビューア	「ューラの設定 コンテンツ表示 表示領域	、電源管理 ;	ネットワーク	ペネル制御	USBメモリー配付	OK 1 障害時処理 L	JACI設定	++>21
※ 外部モジュールを使用してコンテンツを再生している場合など、抑止できない場合もあり ます □回復不能な障害が発生した場合、PCを再起動する(B) ☑動画を別プロセスで再生する(J)	・イアントスケジ 番組ビューア ※ サービス:	「ューラの設定 コンテンツ表示 表示領域 マン用機能です。通常は設	電源管理 2 定を変更しないで	ネットワーク 。	《ネル制御	USBメモリー配付	OK [障害時処理 L	JACI设定	キャンセル >
□回東不能な障害が発生した場合、PCを再起動する(B) ✓動画を別プロセスで再生する(V)	・イアントスケジ 手組ビューア ※ サービス: ・ ご障害	「ューラの設定 コンテンツ表示 表示領域 マン用機能です。通常は設 発生時、エラーダイアログを	 電源管理 ; 定を変更しないで 抑止する(<u>D</u>) 	ネットワーク /	ペネル制御	USBメモリー配信	OK [] 障害時処理 L	JACI资定	キャンセル >
☑動画を別プロセスで再生する√♡	イアントスケジ 新組ビューア ※ サービス: 「陸書 ※ : ます	「ューラの設定 コンテンツ表示 表示領域 マン用機能です。通常は設 発生時、エラーダイアログを 外部モジュールを使用してコ	電源管理 ジ 定を変更しないで 抑止する(D) ンテンツを再生し	ネットワーク / ください。 ている場合な	ペネル制御 ど、抑止できた	USBメモリー配付 は、い場合もあり	OK ; 除害時处理 (JACI設定	++v>セル >
	iイアントスケジ 番組ビューア ※サービス: 「陸書 ※す この頃	「ューラの設定 コンテンツ表示 表示領域 マン用機能です。通常は設 第生時、エラーダイアログを 外部モジュールを使用してコ 不能な障害が発生した場合	電源管理 > 定を変更しないで 抑止する(D) ンテンツを再生し こ、PCを再起動?	ネットワーク / ください。 ている場合な する(<u>R</u>)	パネル制御 ど、抑止できた	USBメモリー配付 い場合もあり	OK	JACIlg	++>+
	イアントスケジ 番組ビューア ※サービス: 、 、 、 よす 二の 課 ます 二の 課 し 二ア 二ア 二ア 二ア 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	「ユーラの設定 コンテンツ表示 表示領域 マン用機能です。通常は設 発生時、エラーダイアログを 外部モジュールを使用してコ 「不能な雑者が発生した場" を別プロセスで再生する(少)	 電源管理 : 電源管理 : 定を変更しないで 抑止する(D) ンテンツを再生し へのを再起動 	キットワーク / ください。 ている場合な する(B)	ペネル制御 ど、抑止できた	USBメモリー配信 は、場合も赤り	OK	JACI政定	キャンセル >
	5イアントスケジ 番組ビューア ※サービス: 「障害 よす 」回復	「ユーラの設定 コンテンツ表示 表示領地 マン用機能です。通常は設 発生時、エラーダイアログを 外部モジュールを使用してコ 「不能な障害が発生した場合 を別プロセスで再生する(V)	電源管理: 定を変更しないで 抑止する(D) ンテンツを再生し 合、PCを再起動す	ネットワーク // べださい。 ている場合な する(B)	パネル制御 ど、抑止できた	USBメモリー配信 Xi V場合もあり	OK	JACI版定	+v>th

「動画別プロセスで再生する」にチェックし、「OK」
 をクリックする。

OK キャンセル

 \times

<u>3. 再セットアップ</u>

本項では、コントローラーの動作が不安定になったり、Windows が正常に起動しなくなったりした場合の再セットアップ手順を説明します。

再セットアップを行うには、あらかじめ回復ドライブとシステムイメージを準備する必要がありますので、以下の手順で回復ドライブの 作成とシステムイメージの作成を行ってください。

※操作にUSBマウスとUSBキーボードが必要です。

3-1. 回復ドライブの作成

USB メモリーを使用して回復ドライブを作成しておくと、Windows が起動しなくなったときでも USB メモリーを使用して、システム イメージを復元することができます。

※回復ドライブの作成には、2GB以上のUSBメモリー(空き領域 1GB以上)が必要です。

- コントローラーを起動し、2GB以上のUSBメモリ ー(空き領域 1GB以上)をUSBポートに取り付け る。
 USBメモリーはフォーマットされますので、大切な データが保存されたUSBメモリーは使用しないで ください。
- 2) 画面左下の検索ボックスに「回復ドライブ」と入力 し、[回復ドライブの作成]をクリックする。
- 「回復ドライブの作成」画面が表示されたら、「シス テムファイルを回復ドライブにバックアップしま す。」のチェックを外し、「次へ」をクリックする。

=	すべ	æ												
ŵ	最も一	致する核	炙索結果											
	<u>)</u>	回復 コントロ 1)	ドライブの コール パネ	0作成 ル		\rightarrow				4				
		.,							3	回復ド コントI	ライブの ロール バネ	作成 ル		
							đ	RK						
*														
	РE	国復ドラ	HJ on	est.										
				1954										
		Q*		e.										
	р	Π.	Ħ	e										
	Q	ä	=	e										
	0,	E1	T	e										
- 1	ر ه د	1151	7	e										
) 	EF51	」 フ ブの作	e مر										
) 	EF51	フ ブの作	。 C 成										
	ク 回復 PC を続 りするこ インスト	に に に た う イ に か で に う イ に う イ に う イ に う イ に う イ に う イ に う イ に う イ に	ブ ブの作 きます。 ることも	そのでも、回 うなでも、回 システムフ: できます。] 凄ドライブ ァイルをこの	を使用して	PC をりセット	したり、間 ると、この1	1題のト ドライブ	ラ ブルシ を使用し	ユーテイン Jて Win	ノグを行う dows を	た再	
÷	PC をお りするこ インスト	見 見 ドライ ・ う イ ・ う イ ・ う イ ・ う イ ・ う イ ・ う イ ・ う イ ・ う イ ・ う イ ・ う イ ・ う イ ・	ブ ブの作 きない場 きます。 ることも	でした。 一 でも、 回 システムフ: できます。)度ドライブ テイルをこの	を使用して ドライブにパ	PC をりセット マクアップす	したり、間 ると、このド	「題のト ドライブ	ラブルシ	ユーティン して Win	/グを行: dows を	oた 再	
	、 回復 りするこ インスト	目 見ドライ くライ: とができ ールす	ブ ブ ブの作 きます。 ることも	成 合でも、回う システムフ: できます。)復ドライブ テイルをこの	を使用して ドライブにハ	PC をりセット	したり、間 ると、この1	題のト	ラブルシン	12−71) Z Win	ノグを行う dows を	た再	
-	 回復】 PC を起こう PC を起こう アンスト 	見 ドライ こ 記 動でで と がで ・ ライ ・ ライ ・ ライ ・ ライ ・ ライ ・ ライ ・ ライ ・ ライ ・ ライ ・ ・ ライ ・ ・ ライ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ブ ブ ブの作 きます。 ることも	成 合でも、回 システムフ: できます。)渡ドライブ アイルをこの ブにパックア	を使用して ドライブにパ	PC をりセット	したり、間 ると、この)	題のト	ラブルシン	1=7√) Z Win	ッグを行っ dows 둔	た再	
+	 回復 PC をお PC をお インスト コシス 	ビレット しんしょう しんしょ しんしょ	ブ ブの作 きます。 さることも	(成) 合でも、回う システムフ; できます。)渡ドライブ ァイルをこの ブにパックフ	を使用して Dドライブにパ Pップします。	PC をりセット 「ックアップす	したり、問	見悪のト	ラブルシン	'⊒-74) 7 Win	ノグを行う dows を	た声	
	P 回復 りするご リッマスト	見ドライ またライ: とおでき ことがで ールす テムフ	ブ ブ う う う つ た ち ままま。 う こ と ぢ ン	成 合でも、回 システムフ: できます。)度ドライブ テイルをこの ブにパックフ	を使用して ドライブにパ Pップします。	PC をりセット マクアップす	-したり、間 55と、この1	題のト	ラブルシン	1=7√) ₹ Win	ッグを行っ dows を	た再	
•	P 回復 PC を表 リジオるご インスト	見ドライ: ミングできていま テムフ	ブ ブ ブの作 ききまことも アイルを	○ 日本 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)) 復ドライブ テイルをこの ブにパックア	を使用して ドライブにハ アップします。	PC をりセット (ックアップ す	したり、間 ると、この1	問題のト	ラブルシ	1-7√3 ℃ Win	ッグを行う dows を	た再	
	PC をまま 回復 りするこ インスト	見 見ドライ こころうイン こころができ ールす	ブ ブ ブの作 きます。 ることも アイルを	R 成 合でも、回 システムプ: プステムプ: の 変ます。) 凄ドライブ アイルをこの プニパックフ	を使用して ドライブにパ ップします。	PC をりセット いクアップす	したり、問 うと、この)	見悪のト	ラブルシ	2-7⊀) 7 Win	ッグを行う dows を	た声	
	p 回復 りするこ インスト	見ドライ そうイ こ いです テムフ	ブ ブ ブの作 きまます。 うることも	成 合でも、回 システムン: ンステムン: ンステムン:	凄ドライブ テイルをこの ブニバックフ	を使用して ドライブにパ マップします。	PC &IJ センッフ yyフアンyフす	したり、問 さと、この?	題のト	ラブルシ	-2-₹4) ζ Win	ッグを行う dows を	た実	
	○ 回復 回復 りするご インスト	見ドライ こ 記動でき こ た が ア ム フ	ブ ブ ブの作 きままる うることも	成 成 合でも、回 システムン ジステムン できます。) 凄ドライブ テイルをこの ブニバックフ	を使用して ドライブにパ マップします。	₽C ₹IJ±יא יאסיילז	したり、問 ると、この)	目題のト	ラブルシ	'2-74) ₹ Win	ノグを行う dows を	た再	

4) 「回復ドライブを作成中」画面が表示され、回復ド ライブが作成される。

← 👝 回復ドライブ	
同復ビライゴを作成中	
回復「ワーフを下成中	
ドライフのフォーマット中	
	キャンセル
回復ドライブの準備ができました	
	完了(F)

 \sim

5) 「回復ドライブの準備ができました」画面が表示さ れたら、[完了]をクリックする。

6) タスクバーの通知領域に表示される む をクリックし、Windows の手順に従って、USB メモリーを取り外す。

Г

※ 回復ドライブの作成に失敗した場合は、再度、1)から実行しなおすか、別の USB メモリーを使用してください。 (USB メモリーの種類により回復ドライブの作成ができない場合があります。)

3-2. システムイメージの作成

システムイメージを作成すると、システムイメージを作った時点の環境をそのまま復元することができます。

- ※ システムイメージの作成には、16GB 以上の USB HDD (空き領域 8GB 以上) が必要です。
- ※ USB HDD はNTFSでフォーマットされている必要があります。
- ※ USB メモリーは使用できませんので、ご注意ください。
- ※ USB HDD にシステムイメージを再度保存する場合、上書きされますのでご注意ください。
- 1) コントローラーを起動し、16GB以上のUSB HDD (空き領域8GB以上)をUSBポートに取り付ける。 USB HDD はフォーマットされません。
- 2) 画面左下の検索ボックスに「バックアップ」と入力し、「バックアップの設定]をクリックする。

 「バックアップ」画面が表示されたら、「[バックア ップと復元]に移動(Windows 7)」をクリックする。

4) 「システムイメージの作成」をクリックする。



5) 「ハードディスク上」を選び、USB HDD を指定し た後、[次へ] をクリックする。

 バックアップの設定を確認した後、「バックアップの 開始]をクリックする。

8) 「システム修復ディスクを作成しますか?」が表示 されたら[いいえ]をクリックする。

7) バックアップの保存が開始される。

別途、回復ドライブを使ってブートを行うため、シ ステム修復ディスクを作る必要はありません。

~	🏂 システム イメージの作成		
	バックアップをどこに保存しますか?		
	システム イメージは、Windows の実行に必要なドライブのコピ システム イメージは、ハード ドライブまたはコンピューターが動作す できます。ただし、復元する項目を個別に選択することはできま	ーです。追加のドライブを E停止した場合に、コンピ Eせん。	含めることもできます。 ユーターの復元に使用
	 ハードディスク上(H) 		
	↓ボリューム (E:) 8.73 GB 空き	~	
	トノイノ上の販新ハックアッフ: 2020/07/01 9:43:32		
	〇 1 つ以上の DVD 上(D)	~	
	○ ネットワークの場所上(1)		
		選択(S)	
			次へ(N) キャンセノ
←	💰 システム イメージの作成		
	バックアップの設定を確認します		
	パックアップの場所:		
	ベ ジーム (E:)		
	パックアップには 18 GB のディスク領域が必要です。		
	▲ このコンピューターに関する既存のシステム イメージは、上	書きされる場合があります	۲.
	次のドライブのパックアップが作成されます:		
	■ EFI システム パーティション		
	し Windows (C:) (システム)		
			_
		パックアップ	の開始(S) キャンセノ
1	ソステム イメージの作成		
バッ	フアップを保存しています		
			バックアップの停止(S)
シス	テムイメージの作成		
シス シ)	ァムイメージの作成 ステム修復ディスクを作成します	か?	
シス シ シ ク に する	テムイメージの作成 ステム修復ディスクを作成します テム修復ディスクを使用してコンピューター :含まれている Windows システム回復ツ- ndows を回復させたり、システムイメージ; らことができます。	か? をブートできます。 ールを使用すると からコンピューター	システム修復ディ 、重大なエラーかり イメージを再適用
シス シ シ ク に する	テムイメージの作成 ステム修復ディスクを作成します テム修復ディスクを使用してコンピューター :含まれている Windows システム回復ツー ndows を回復させたり、システムイメージ; ことができます。	か? をブートできます。 ールを使用すると からコンピューター	システム修復ディ 、重大なエラーから イメージを再適用

9) 「バックアップは正常に完了しました。」画面が表示 されたら、[閉じる] をクリックする。



10) タスクバーの通知領域に表示される 📋 をクリックし、Windows の手順に従って、USB HDD を取り外す。

3-3. 回復ドライブとシステムイメージを使った復元

コントローラーの動作が安定しない場合や、Windows が起動しなくなった場合は、「3-1 回復ドライブの作成」で作成した回復ドライブ(USBメモリー)と「3-2 システムイメージの作成」で作成したシステムイメージ(USB HDD)を使用して、PC を復元することができます。

※ システムイメージを作った時点の環境がそのまま復元されます。

※ あらかじめ回復ドライブとシステムイメージを作成しておく必要があります。

BIOS 設定に入る場合は、ディスプレイの電源が入った状態で行ってください。ディスプレイの電源が切れた状態や信号待機状態で実施すると、BIOS 画面に入ることができません。

- 1) 回復ドライブの USB メモリーとシステムイメージの USB HDD をコントローラーの USB ポートに取り付ける。
- コントローラーを起動し、右図の画面が表示された
 ら、キーボードの[DEL]キーを連続的に押す。
- BIOS 画面が表示されたら、[Save & Exit]のタブから[UEFI: ドライブ名]を選択し、[Enter]を押す。

See more keyboard layouts (その他のキーボードレイアウトを表示)]を何度か選択し、[Japanese (日本語)]が表示されたら選択する。

5) [Troubleshoot (トラブルシューティング)]を選択 する。

 [System Image Recovery (イメージでシステムを 回復)]を選択する。



- 8) [Window 10] を選択する。
- 9) 使うシステムイメージの情報を確認し、[Next 3]を クリックする。

10) [Next >]をクリックする。

11) [Finish]をクリックする。

- 12) [Yes]をクリックする。
- 13) 復元が完了するまで待つ。
- 14) 左の画面が表示されたら、[Restart now]をクリックし、再起動する。
 しばらく経つと、自動で再起動します。

